

より早く、よりの確に内容をとらえるために、Question と Keyword による Index をご利用ください。それぞれ各論文の要点を示す質問とキーワードで構成されています。

Question

- Q1 研修医が不明熱診療で活躍できること、注意すべき点はありますか？ ————— 462
- Q2 熱源が不明の場合であっても、あえて治療を急ぐことはないとのことですが、例外はどのような時ですか？ ————— 466
- Q3 診断がついていないなかで、入院か帰宅かの診断をする時のポイントは？ ————— 470
- Q4 在宅高齢者の発熱診療において、病院への搬送を判断する基準は何ですか？ ————— 474
- Q5 プライマリケアの後に紹介を受ける不明熱患者で、①紹介前の情報、②紹介のタイミング、③使用薬剤のそれぞれで困る場合をあげてください。 ————— 478
- Q6 入院中の不明熱を考える時に重要なことは何ですか？ ————— 482
- Q7 不明熱で解決できない場合、どうしたらよいですか？ ————— 486
- Q8 不明熱で原因不明のまま治療を開始する基準は？ ————— 486
- Q9 横綱級不明熱で診断がつかない場合、どうすればよいですか？ ————— 486
- Q10 心エコーで疣贅がなければ、感染性心内膜炎を否定できますか？ ————— 492
- Q11 不明熱の患者の発熱の原因が膠原病によるものであると考えるのはどのような場合で、その際にどのようなことに気をつけて診療に当たるべきでしょうか？ ————— 498
- Q12 本を読むと、悪性腫瘍の不明熱で腎癌があると書いてあるのですが、みたことはありません。実際にあるのですか？ ————— 508

Keyword

clinic の語源	462	結節性多発動脈炎	498	前医からの情報収集	478
Duke の基準	492	検査	466	高安動脈炎	498
infected cardiac myxoma	508	抗核抗体	466	偽の手がかり	486
non-HACEK	492	在宅医療	474	ニューキノロン	478
random skin biopsy	508	時間軸	482	発熱時薬剤ローテーション	
医療不信	486	自己抗体	498	法	462
感染性心内膜炎	492	自作自演の不明熱	462	搬送基準	474
巨細胞性動脈炎	498	終末期医療	474	不明熱	466・482
空間軸	482	心エコー	492	不明熱の質的定義	478
経験的治療	486	腎癌と不明熱	508	不明熱のパターン診断	486
血液培養	466	心臓粘液腫	508	不明熱不明症候群	462
結核	478	髄液検査	470	横綱級不明熱	462
血管炎	498	錐体炎	492	リウマチ性多発筋痛症	498
血管内リンパ腫	508	生検	470		